

茶病虫害防除情報

【第 9 号】

令和 6 年 5 月 28 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

更新茶園の病虫害防除対策

南九州地域の梅雨入りも近まりました。二番茶芽の生育も早場産地から進んで、摘採も始まりそうです。最近の厳しい市況の影響などで今年も一番茶後の茶園の更新が多くみられます。更新は樹高調整や樹勢回復、来年産茶の品質向上などを目的に実施されますが、更新後の茶園管理は極めて重要で、再生芽の健全な生育と充実を図ることが最も大切です。

更新園は一時的に病虫害の発生源は減少しますが、再生芽生育初期は葉が少ないことや、新芽の生育期間が長く、病虫害の発生しやすい時期のため再生芽にチャノトリヒメコハイ、チャノキイロアザミウマ、チャノホリガ、カンザワハダニ、炭疽病、輪斑病、新梢枯死症などが発生しやすく、再生芽の生育・充実を損なうこととなりますので、その防除対策について紹介します。

★ 発生する病虫害と防除対策

更新園は更新の時期、更新の程度(中切り 深刈り)、樹勢、その後の天候などにより再生芽の生育時期や生育状態が異なりますので、芽の生育状況に対応した防除を行います。また、再生芽を摘採・製茶する予定の場合薬剤の使用時期に十分注意する必要があります。

チャノトリヒメコハイ **チャノキイロアザミウマ**

更新園で被害影響が最も大きいです。再生芽の萌芽・生育初期に集中加害し、芽の生育、樹勢回復を著しく阻害します。萌芽から生育初期に残効の長い薬剤などで防除します。

チャノホリガ

再生芽の開葉期に産卵、潜葉期幼虫などの状況を確認し、薬剤防除します。

カンザワハダニ

更新園では、この数年秋芽生育期の 8 月頃に一時的に多発生し、再生芽や秋芽の被害がみられています。更新により一時的な天敵の減少や寄生する葉の減少などが原因のようで、注意が必要です。天敵に影響の少ない、全ステージに効く速効性の薬剤で防除します。

チャトゲコナジラミ **クシロカイガラムシ**

多発生園では、第 2 世代(若齢幼虫期)(ふ化最盛期)に防除し、密度低下を図ります。

炭疽病

更新後裾部などに残った伝染源病葉などから発生が次第に増加していきます。再生芽生育が梅雨期になり、生育後半の感染が多いので 2—3 葉期頃に薬剤防除します。

輪斑病 **新梢枯死症** (やぶきた園)

病原菌は枝や枯葉、成葉などにも残っており、輪斑病は再生芽の摘採・整枝時に感染しますので直後に、新梢枯死症は感染がおこる再生芽生育期(2 葉期頃)に薬剤防除します。

☆ 更新園再生芽の病害虫薬剤防除法

病害虫	防除時期	防除薬剤	希釈倍数(倍)	使用基準
チャノミト [®] リヒメコハイ チャノキイロアサ [®] ミウマ	再生芽	ウララ DF	1000~2000	7日前 1回
	萌芽—生育初期	コテツフロアブル	2000	7日前 2回
		アグ [®] リメック	1000	7日前 1回
		コルト顆粒水和剤	2000~3000	7日前 2回
		エクシール SE	2000	7日前 1回
		テッパ [®] ン液剤	1000	3日前 1回
チャノホガ [®]	再生芽	テ [®] イナ SC	2500~5000	摘採前日 1回
	1—2葉期 (卵—潜葉幼虫期)	サムコルフロアブル	2000~4000	3日前 1回
		ノーモルト乳剤	2000~4000	7日前 1回
		カスケート [®] 乳剤	4000	7日前 2回
		ファルコンフロアブル	4000~8000	7日前 2回
		エクシール SE	2000	7日前 1回
		テッパ [®] ン液剤	1000	3日前 1回
カンザ [®] ワハダニ	7月下—8月	ダニサラバ [®] フロアブル	1000~2000	7日前 2回
	秋芽生育期	ダニコング [®] フロアブル	2000~4000	7日前 1回
		アグ [®] リメック	1000	7日前 1回
チャトグ [®] コナジラミ	第2世代 若齢幼虫発生期	アグ [®] リメック	1000	7日前 1回
		テ [®] イナ SC	2500~5000	摘採前日 1回
		アブ [®] ロード [®] エースフロアブル	1000	14日前 2回
		ウララ DF	1000	7日前 1回
クワシロカイ [®] ラムシ	第2世代	アブ [®] ロード [®] エースフロアブル	1000	14日前 2回
炭疽病 新梢枯死症 黒葉腐病	再生芽	ダ [®] コニール 1000	700~1000	10日前 1回
	2—3葉期	ク [®] プロシールト [®]	500~700	摘採前日 —
		ム [®] ッシュボ [®] ルト [®] ー	500~1000	7日前 1回
		インタ [®] ーフロアブル	5000~8000	7日前 2回
輪斑病	再生芽	カ [®] スミンボ [®] ルト [®] ー	500~1000	14日前 2回
	整枝3日後迄	ア [®] ミスター 20フロアブル	2000	14日前 3回
	整枝直後	ダ [®] コニール 1000	700~1000	10日前 1回
		フ [®] ロンスイト [®] SC	2000	14日前 1回

備考 ①更新園の防除時期は一般園と異なるので、摘採を行う一般園へのドリフトには十分留意する。

②秋芽生育期に使用予定の薬剤は更新園再生芽への使用は避ける。

③再生芽を摘採予定の園では使用薬剤の使用時期に留意する。

④太字剤は一般園栽培暦（二・三番茶期）採用薬剤である。



再生芽整枝後に発生した輪斑病



再生芽に発生した新梢枯死症



更新園再生芽に多発した新梢枯死症



チャノミドリヒメコハイ 成虫



チャノミドリヒメコハイ 被害芽



チャノキイロアザミウマ 幼虫 蛹



典型的チャノキイロアザミウマ 被害芽